

①施策の目的等

施策の名称	施策Ⅲ-2-2 スポーツの振興
目的	○県民一人ひとりの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて多様なスポーツ活動が実践できる環境づくりを目指します。 ○国際大会や国民体育大会などの全国大会において、優秀な成績を収められる選手の育成を目指します。

②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
スポーツに取り組んでいる人の割合	目標値		37.0	38.0	39.0	40.0	%	国民体育大会年間入賞種目数	目標値		26.0	27.0	27.0	28.0	種目
	実績値	36.4							実績値	26.0					
	達成率	-	-	-	-	-			達成率	-	-	-	-	-	
全国中学校体育大会・全国高等学校総合体育大会等の年間入賞種目数	目標値		53.0	54.0	55.0	56.0	種目		目標値						%
	実績値	58.0							実績値						
	達成率	-	-	-	-	-			達成率	-	-	-	-	-	
定性目標	平成28年度～平成31年度														
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）	全国中学校体育大会・全国高等学校総合体育大会等の年間入賞種目数は、毎年常に増え続けるものではなく、各年において変動することもあるということから、過去5年間の平均値（53）と過去5年間の最高値（58）の中間値（56）を平成31年度の目標値として取り組んでいきます。														

③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状 (客観的事実・データなどに基づいた施策の現状や取組状況)	○平成27年度のスポーツに取り組んでいる人の割合は、平成26年度と比べて微増したが、今後取り組んでみたい人の割合は微減している。 ○平成27年度の国民体育大会の入賞種目数は26種目で、平成26年度に比べ2種目増え、少年の部での活躍が見られる。 ○平成27年度の少年の全国大会での入賞種目数は58種目で、平成26年度より6種目の増となり、少年の競技力は高まっている。
---	--

④今年度末の施策目的の達成度予測

	判断	その理由
28年度の施策目的の達成度予測 A:達成できる B:概ね達成できる(見直す点がある) C:達成は困難	B	○総合型地域スポーツクラブの育成やスポーツ情報の提供などを行うことで、障がいのある方も含め、多くの県民がスポーツ活動を実践できる環境は整いつつあるが、総合型地域スポーツクラブについての住民の認知度はまだ低いと、スポーツクラブの魅力を発信していく必要がある。 ○学校体育団体や競技団体が実施する強化練習会や指導者研修会などの支援を行い、スポーツトレーナーやスポーツ栄養士等の専門家による競技者への身体面・栄養面などの多面的なサポートを進め、競技力の向上を図ることで、全国大会で優秀な成績を収められる選手の育成が図られているが、優秀な競技力のある成年選手が競技を続けられる環境整備を進める必要がある。

⑤課題の認識

(1)平成31年度末の施策目的の達成状況(予測) A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難	判断	その理由(④の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載)
(2)施策の目的達成に向けての課題	B	○それぞれの体力や年齢、目的等ライフスタイルに応じたスポーツ活動の環境づくりを進める必要がある。 ○優秀な競技力のある成年選手が競技を続けられる環境整備が整っていないため、受け皿となる企業等の確保が必要である。 ○競技への継続的なサポートが得られないため、後進が続かないことから、各競技団体が地域と一体となって競技の強化を推進する必要がある。 ○スポーツ医・科学等の専門的なサポート等が十分でないため、トレーナーやスポーツ栄養士等の専門家による日々の身体づくりやメンタルトレーニングなど多面的なサポートが必要である。 ○少年(中学・高校)の全体的な競技力をアップするために必要な指導力の不足や、教員の人事異動による中・高の一貫した指導体制が組みにくい面があり、指導者の確保と一貫した指導体制が必要である。

⑥今後の取組みの方向性

課題解決に向けての今後の取組みの方向性	○スポーツ活動の環境づくりを進めるため、地域住民がスポーツ活動への参加意識を高められるよう、「しまね広域スポーツセンター」を中心として、総合型地域スポーツクラブの支援・育成を図っていく。 ○優秀な競技力のある成年選手が競技を続けられるよう、受け皿となる県内企業などを確保するために、企業等にスポーツに対する理解や関心を高めもらう取組みを進める。少年選手の育成については、県外選征や県外強豪校を招いて行う合宿による選手強化、優秀な指導者の育成などを進めていく。また、中体連、高体連、競技団体、県体協などと連携を図りながら、小・中・高と一貫した指導体制が確立できるよう進めていく。
---------------------	---

施策評価シート別紙2(事務事業一覧)

施策の名称	施策Ⅲ-2-2 スポーツの振興				
-------	-----------------	--	--	--	--

(単位:千円)

	事務事業名	目的(意図)	前年度 事業費	今年度 事業費	所管課名
1	生涯スポーツ推進事業	各地域で、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じたスポーツ活動を実践する	17,070	17,554	保健体育課
2	スポーツ・レクリエーション推進事業	スポーツ・レクリエーション活動の楽しさを体験することにより、継続的なスポーツ活動への意欲を喚起する	6,353	7,526	保健体育課
3	県立体育施設管理運営事業	施設の利便性を高め、施設利用者を増やすことを通じて、スポーツの普及を図る	440,672	346,411	保健体育課
4	競技スポーツ普及強化推進事業	競技力の向上を図り、全国規模の大会で活躍する選手の育成・強化を行い、競技スポーツの普及・推進を図る	156,467	158,136	保健体育課
5	国民体育大会選手派遣事業	できるだけ多くの選手が国体へ出場する	68,302	117,755	保健体育課
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					